

プログラム名		きいてみよう 森の声					
対象年齢		年中・年長(4～6歳)					
ねらい	メッセージ	森にはいろいろな生きものがいることに気づこう					
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見たり、探したりすることの楽しさ</li> <li>・いろいろな音</li> </ul>					
参加者のめやす		幼児 30人		/		支援者 2名	
実施時間		20～30分					
フィールド							
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間		活動		配慮・アドバイス アレンジ			
5分		自然の音を聞く		これからする活動に興味を持てるように話を進めます。 注意事項を伝えます。  静かに音が聞けるような雰囲気づくりをします。  子どもたちの気づきに共感し、イメージが膨らむように話を進めます。			
5分		支援者が出した音を聞く		竹の音や竹を揺らした音など、森の中の音を工夫して出してみましょう。 (例)・枯れた竹の上を歩く音 ・竹をたたく音 どんな音がしたのか、尋ねてもいいでしょう。			



時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	音探し ・支援者が出した音を探す  ・友だちと探す  	注意事項 ・笛の合図で元の場所にもどります。 ・支援者が見えるところで探します。 ・音が出たものは持って帰っても良いが、折ったりちぎったりしないことを伝えます。 ひとりで探すのではなく、友だちと一緒に探しに行くことを伝えます。 探し行く前に期待がふくらむようにしましょう。
5分	探してきた音を伝え合う  ・音を出す	子どもたちの気づきに共感したり、援助したりしましょう。 個々の気づきを取り入れながら、実際に音を出し、研究しあえるようにしましょう。 子どもたちが見つけた音のところに行き、実際に音を出し、共有しましょう。
5分	ふりかえり	森の中には、いろいろな音があることをふりかえりながら、森のなかには、いろんな生きものが生きていることに気づけるようにしましょう。 たたいてならず楽器もあれば、こすってならず楽器もあることにふれることで、自分たちの生活と結びつきます。
<b>【異年齢への対応】</b> 年少：支援者と一緒に音を楽しみます。 年中・年長：竹をリズムに合わせてたたいてみましょう。		
<b>【園や家庭に帰ってから】</b> 竹で楽器を作り、運動会などで活用してみましょう。 家庭や公園などで、存在する音を親子で探してみましょう。 音を言葉にして表してみましょう。		
準備物・教材等		

